



ハウツーガイド **4.4**

カメラが動きを検知したときに、 自動的にストロボサイレンを作動させる



手順:

カメラが動きを検知 したときに、自動的 にストロボサイレン を作動させる

AXIS Optimizerでは、カスタムルールを設定して、カメラが動きを検知したときに自動的にストロボサイレンをトリガーして音と視覚によるアラートを作動させるなど、リアルタイムのイベントへの応答として自動アクションを作成することができます。

要件

- 以下のいずれかを選択してインストールします。
 - Milestone XProtect Express+
 - Milestone XProtect Professional+
 - Milestone XProtect Expert
 - Milestone XProtect Corporate
 - Milestone XProtect Essential+
- Management Clientに最新バージョンの AXIS Optimizerをインストールします。
- 1つ以上のストロボサイレン
- Management Clientで有効になっているAxisストロボサイレンの出力1

カメラが動きを検知したときに、自動的にストロボサイレンを 作動させる

- 1. ユーザー定義のイベントを追加する:
 - a. [Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [Rules and Events (ルールとイベント)] に移動し、[User-defined Event (ユーザー定義のイベント)] を右クリックします。
 - b. [Add User-defined Event (ユーザー定義のイベントを追加)] を選択し、名前を入力します。この例では「Activate strobe sirens (ストロボサイレンの作動)」と入力します。
- デバイスアシスタントでストロボサイレンのプロファイル を設定する:
 - a. [Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [AXIS Optimizer] → [Device assistant (デバイスアシスタント)] に移動します。
 - b. ストロボサイレンを選択してストロボサイレンのWebページを開きます。
 - c. [Profiles (プロファイル)] に移動し、[Add profile (プロファイルの追加)] をクリックします。
 - d. ストロボサイレンが作動したときに、ストロボサイレン が実行するアクションを設定します。
 - e. 他のストロボサイレンにも同じプロファイルを作成します。すべてのデバイスで同じプロファイル名を使用する必要があります。
- 3. アクションプリセットを作成する:
 - a. [Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [Rules and Events (ルールとイベント)] → [Axis actions (Axisアクション)] に移動します。
 - b. [Add new preset (新規プリセットを追加)] をクリックします。
 - c. [Select strobe siren (ストロボサイレンの選択)] に移動し、[Strobe siren (ストロボサイレン)] をクリックします。
 - d. 使用するストロボサイレンを選択し、[0K] をクリックします。ストロボサイレンのプロファイルのリストが表示されます。
 - e. 前の手順で作成したストロボサイレンのプロファイル を選択します。アクションプリセットは自動的に保存されます。
 - f. F5を押してサーバー設定を更新します。これで、作成した新規のアクションプリセットの使用を開始できます。

- 4. ルールを作成する:
 - a. [Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [Rules and Event (ルールとイベント)] に移動し、[Rules (ルール)] を右クリックします。
 - b. [Add Rule (ルールの追加)] を選択し、名前 (「Trigger all strobe sirens rule (すべてのストロボサイレンルールをトリガー)」など) を入力します。
 - c. [Perform an action on <event> ((イベント) でアクションを実行する)] を選択します。
 - d. [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] フィールドで、[event (イベント)] をクリックします。
 - e. [Events (イベント)] → [External Events (外部イベント)] → [User-defined Events (ユーザー定義のイベント)] に移動し、[Trigger all strobe sirens (すべてのストロボサイレンをトリガー)] を選択します。
 - f. [**Next (次へ)**] を、[Step 3: Actions (ステップ3: アクション)] が表示されるまでクリックします。

 - h. [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] フィールドで、[preset (プリセット)] をクリックします。
 - i. 使用するプリセットを選択します。
 - j. [Next (次へ)] をクリックし、[Finish (完了)] をクリックします。
- 5. Smart Clientで、ユーザー定義のイベントをマップまたは ビデオビューのオーバーレイボタンとして追加します。
- 6. オーバーレイボタンをクリックし、ルールが想定どおりに動作することを確認します。

使用開始のサポート資料

AXIS Optimizerハウツービデオを視聴する

オンラインユーザーマニュアルを見る

その他のハウツーガイドをダウンロードする

AXIS Optimizer使用開始ガイドを読む

特定の作業に対するステップバイステップのワークフローは、変更される場合があります。最新の説明については、<u>オンラインユー</u>ザーマニュアルを参照してください。

自動アクションによる応答時間と精度設定の向上

リアルタイムイベントの管理には手動操作が伴うため、ミスや遅延が発生するリスクが高まります。動きによってトリガーされたときにストロボサイレンを自動的に作動させるなどのアクションの実行は、面倒に感じる場合があります。なぜなら、この種のアクションは一度に1台のカメラに対して手動で行わなければならず、時間がかかり単調な作業であるためです。また、システムの規模が大きくなるほど接続されるデバイスの数が増え、より多くの時間と労力が必要になります。このようなリアルタイムのイベントにタイムリーかつ適切に対応できなければ、マイナスの影響が生じる可能性が高くなります。例えば、カメラのレンズに雨がかかると、ビデオの画質が低下する可能性があります。

AXIS Optimizerがこの問題をどう解決するか

イベントサーバープラグインは、AXIS Optimizerインストーラーに含まれるオプションのコンポーネントで、Milestone XProtectイベントサーバーにインストールされます。このイベントサーバープラグインを使用すると、特定のルールアクションを作成し、1台以上のAxisデバイスに実装することができます。システム管理者は、Axisデバイスで自動アクションを実行するためのカスタムルールを素早く設定し、オペレーターの作業を簡素化することができます。タスクに応じて、オペレーターの操作なしで、またはオペレーターがSmart Clientのボタンをクリックしたときに、自動アクションを実行するように設定できます。

AXIS Optimizer for Milestone XProtectについて

AXIS Optimizerは、Milestone XProtectにおけるAxisデバイスのパフォーマンスを最適化する統合のスイートです。すべてのユーザーがAxisとMilestoneのシステムを最大限に活用しながら、時間と労力を大幅に削減することができます。新しいAxis製品に対応できるよう継続的に更新されます。更新版は、axis.comからワンタイムインストーラーとして無料でご利用いただけます。

Axis Communicationsについて

Axisは、セキュリティとビジネスパフォーマンスを向上させるソリューションを生み出すことで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークテクノロジー企業として、また業界をけん引するリーダーとして、Axisは映像監視、アクセスコントロール、インターコム、音声システムなどに関連するソリューションを提供しています。これらのソリューションは、インテリジェントアプリケーションによって強化され、質の高いトレーニングによってサポートされています。

Axisは50ヶ国以上に4,000人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のテクノロジーパートナーやシステムインテグレーションパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。Axisは1984年に創業し、本社はスウェーデン・ルンドにあります。

